

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	筑波大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ツクバダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	茨城県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	科目名	海外企業におけるインターンシップ
	学部・研究科等名	筑波大学大学院 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 ヒューマンバイオロジー学位プログラム
	担当教職員名・役職	高橋 智 教授
	受講者数実績年度	令和2年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	2
	受入企業等数	2
	受入企業等名	TNAX Biopharma (株)、他1社
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ 7.大学院生を対象とした研究インターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	当該科目では、インターンシップが可能な海外企業を自ら探すことから始まり、ビジネスチャンスにつながる知識と方策を実践により身につける。さらに、インターンシップの計画について海外企業と交渉したうえで設定し、これを実施する。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 5.当該インターンシップは、選択必修科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学院 修士2年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学院 5単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	大学院 5年一貫制博士課程 2年次を対象。国際科目・選択必修科目として、授業期間中に実施し、5単位を付与する。
	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている

要素③		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
		2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	当該科目は学生自らがインターンシップ先企業を探すことからスタートするため、予め入念な企業研究を行っている。また研修内容についても事前に受け入れ先企業と学生の間で綿密に打合せを行っている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	研修後はレポートの提出を求めている。また受け入れ先からも「評価書」をいただき、学生への教育に活用している。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細		
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	受入企業にも評価してもらっている。
	4-3.上記回答内容に関する詳細	インターンシップ実施後に、受入れ企業に評価していただき、教育的効果の測定を行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
		4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	150時間以上。時期・期間は受入先と相談。
5-3.上記回答内容に関する詳細	インターンシップ提供企業と協議の上、4週間のインターンを行い、実施後は研究指導教員とディスカッションを行う」ことを原則としているが、令和2年度実施のインターンシップにおいては企業と学生からの要望を考慮し、6か月間、3か月間と長期にわたり実施した	

要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	受入企業等、インターンシップ中の学生に対する評価を実施して頂いている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www.tsukuba.ac.jp/education/g-courses-g-tsukuba-tokyo/2021-2/pdf/21133.pdf
問い合わせ先	大学等名	筑波大学
	担当部署名	グローバル教育院
	担当者役職名	一般職員
	担当者氏名	岸 由美
	電話番号	029-853-7306
	メールアドレス	sigma@un.tsukuba.ac.jp